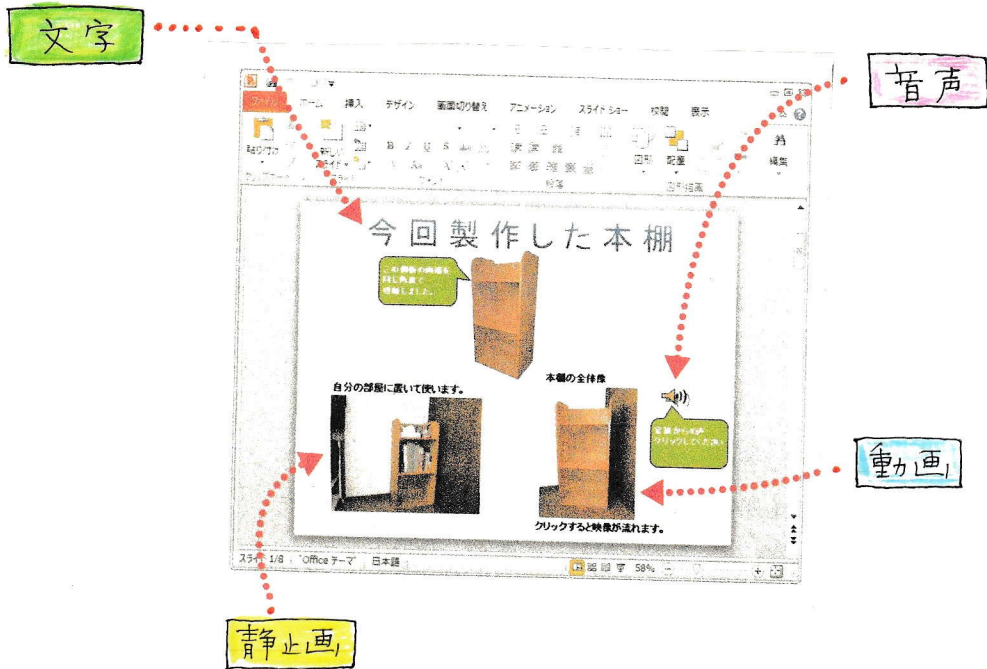


# デジタル作品における表現の特徴

- デジタル作品の内容をより分かりやすく伝えるには、表現する(目的)・内容、発信する場面、方法によって、表現手段を(使い分け)たり組み合わせたりする。
- デジタル作品の制作は、高齢者や障がい者にも利用しやすいように、(アクセシビリティ)に配慮した工夫と、性別や国籍なども関係なく、全ての人を使いやすい(ユニバーサルデザイン)を考えることが重要である。



## 文字

- (プラス)
- 形や(大きさ)を変え、伝えたい部分が強調できる。
  - 情報の伝達は正確で、作成、修正が容易。
  - データ量は(少な)い。

- (マイナス)
- 情報を多く伝えるににくい。
  - (視覚)障がい者や文字を習得していない子どもには、内容が伝わりにくい。